

| | |
|--------|------------------------------|
| 研究課題番号 | SⅡ-7-2 |
| 研究課題名 | 深海大型生物相の環境 DNA によるモニタリング法の開発 |
| 研究実施期間 | 2020 年度～2022 年度 |
| 研究機関名 | 千葉県立中央博物館 |
| 研究代表者名 | 宮 正樹 |

1. 委員の指摘及び提言概要

環境 DNA を用いた深海大型生物の検出技術を確立し、海洋深層水や実海域から多種多様な深海大型生物の検出に成功するとともに、確立された実験手法のマニュアル化を図るなど、本研究課題の目標に見合う成果をあげたと評価できる。深層海洋水を用いても、MiFish 法が活用でき、また新たに代表的な無脊椎動物の検出についても開発が進んだと考える。茫洋としていた海洋生物群集がかなりの精度でくっきりと見えはじめ、評価されるべき成果である。着実な手法の標準化がなされ、技術移転を可能にしていることは高く評価できる。一般向けのアウトリーチ活動に精力的に取り組んだ点も評価する。

2. 採点結果

評価ランク：S